

# 新年



## 新年のご挨拶

東栄町長 村上孝治

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。平素は、町政全般にわたり温かいご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、平成29年12月に行われた皇室会議によって、天皇陛下の譲位は平成31年4月30日となることが決定し、5月1日より改元されて新たな元号がスタートします。平成の締めくくりにふさわしく、今年には町民の期待を集める「三遠南信自動車道 東栄IC」佐久間川合IC」間が3月2日に開通することとなり、現在、開通に向けた準備が進んでいます。そして、4月21日には、統一地方選挙による町長と町議会議員の選挙が行われる予定であり、新しい元号とともに新たな気持ちで次の時代を町民の皆様とともに築いていく覚悟でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

私が町政運営を担うこととなってから、早いもので任期の4年目となります。就任当初は、景気回復の兆しが見えつつも、その恩恵を地方が実感するまでには至っておりませんでした。また、本町では、病院や役場庁舎などの公共施設の老朽化が課題となる一方で、今までの施設建設などによる多額の地方債（借金）の返済も控え、極めて厳しい財政状況となっていました。

こうした状況を打開するため、私が町民の皆様に一貫して訴えたことは、「将来への明確なビジョンの再構築」、「積極的な情報公開」、そして「真の協働によるまちづくり」です。そして、何よりも大切にしたことは「町民の皆様との対話」です。「見ます 聴きます 話します 説明と納得のまちづくり」を基本に、皆様のところに出向き、話を伺い、町の実情をしっかりと説明しました。また、町長室

の開放などの対話機会を設け、「真の協働によるまちづくり」に取り組みました。また、「将来への明確なビジョンの再構築」を行うため、まちづくりの理念である『まちづくり基本条例』や理念を実現するための施策をまとめた『第6次総合計画』を住民の皆様と共につくりあげ、議会にもお認めいただきました。そして、協働による町内経済の活性化として、日本一の称号を得た振草川の鮎を釣り客から漁協が買い取り、町内飲食店に提供する仕組みができました。さらに、保育園の建設や耐震がなされず老朽化の著しい日本郷高校校舎の取り壊し等による安全な教育環境の整備も進めるなど、新たなまちづくりが始まっています。

「計画から実行・実現」に向け、町民の皆様と共に、様々な課題を乗り越え、新たな未来を作るため、自ら先頭に立ち、職員一丸となってまちづくりを進めてまいります。町民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

新しい年が、町民の皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。